



ネット 5 トラブル

どう防ぐ?

今の10代にとって、テレビは過去のメディア」となりつつある。ネットの「動画サイト」の存在である。

もともとネット動画は

人気だったが、近年の技術進歩で劇的に一般化。ビジネスチャンスも高まり、動画共有サイト、動画配信サイト運営にもさまざまな業者が参入。最大手はYouTube(ユーチューブ)だが、他にもニコニコ動画をはじめとしてFC2動画、Vine、Daily Motion、Twitter Casting、MixChannelなど。

そして、今や子どもたちも大切な顧客で、多くの子がパソコン、スマホ、タブレット、ゲーム機など、各々の端末を駆使して動画を楽しむ。

もちろん合法で、とがめることは何もない。心配なのはそれを長時間見続け、時間を浪費してしまつ子が非常に多いことと、違法動画(外国のサイトに違法で上げられた日本のアニメなどもそれと気づかず視聴してしまっていることだ。

しかし、もつと心配なのは「動画の投稿」。ここが既存のメディアと決定的に違うところで、動画

サイトの多くは視聴者が自分の動画を投稿できる仕組みが整う。スマホでも、撮影した動画をすぐ

に編集し、投稿できる。

これも行為自体は違法ではない。しかし、子どもたちは著作権保護、個人

憧れのユーチューバー!?

お金が絡む動画投稿に注意



を投稿し、そこから出る収益で生活している人のことである。

「はじめしゃちょー」「ヒカキン」という有名ユーチューバーの収入は1000万円近いとの報道も(日経コンピュータ2015年9月25日)。今、彼らに憧れる子どもが非常に多く、都内のある小学校の今年の卒業文集では、将来になりたい職業No.1はユーチューバーだった、との話も聞いた。

情報の流失防止、倫理的な問題などの全てを適切に対処できているだろうか。

「ユーチューバー」という言葉をご存じだろうか。ユーチューブに動画

お金を絡むとなると、再生回数を増やすために「もつと注目されたい」と思い、結果的に「過激なもの」「性的なもの」「犯罪に絡むもの」に走りやすい。「ユーチューバー」に憧れた子どもが、そついった方向に行かないことを切に祈るのみだ。

私も数カ月前にユーチューブに動画を投稿してみた。撮影した動画と作った音楽を編集して公開したところ、現在1万8000回ほど再生。「広告収入を得る」という設定なのだが、確認すると収益は0円。より収益の上がる方法や設定があるのかもしれないが、少なくとも一般人が簡単にお金を得られる世界ではないことだけは確かだ。